

幸手市水稻病虫害（イネカメムシ・ジャンボタニシ） 防除薬剤購入補助事業(令和8年度)のお知らせ

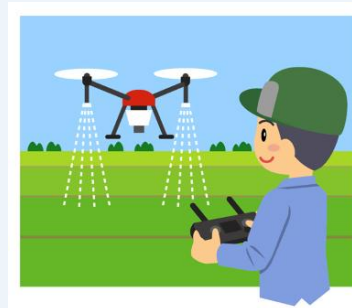
幸手市環境保全型農業推進協議会では、水稻への被害を軽減するため、イネカメムシ・ジャンボタニシに対する防除薬剤の購入費の一部を補助します。

対象者

米生産農家であり、
幸手市に令和8年度の営農計画書を提出した方

対象 薬剤

- 本田防除薬剤
- ①トレボン乳剤
 - ②スタークル粒剤・豆つぶ
 - ③モンガリット粒剤
 - ④キラップフロアブル
 - ⑤スクミンベイト
 - ⑥その他同等の薬剤



補助額

10a当たり500円以内とし、
営農計画書の水稻作付面積を上限とする。
(ただし予算の範囲内とする。)

申請 方法

幸手市内農協各支店又は幸手市農業振興課へ
申請用紙及び薬剤の領収書を提出。

※農協でドローンを依頼した方は申込不要です。

申込 期限

令和8年7月1日から9月30日まで

イネカメムシ

体長約13mm。黄褐色で背部両側に白色帯を持つやや細長いカメムシ。7月頃から水田に飛来し、穂を加害するため、出穂期頃から発生が増加します。

イネカメムシの加害により、不稔や斑点米が生じ、多発した場合には収量・品質に影響します。

出穂期～穂揃期と、穂揃期の7～10日後の**薬剤散布**が有効です。



左:イネカメムシ
右:斑点米

ジャンボタニシ (スクミリンゴガイ)

雑食性で、水温が15℃から摂食活動を行い、水深4cm以上で活発に動き回ります。暖冬の影響により、ジャンボタニシの越冬個体数が増加しています。

田植え（移植）直後の軟らかい水稻苗を食害します。

（5葉期になるとほとんど食害されません。）

成長した貝は水面から8～10cm上の稲や畦畔等にピンク色の卵を産み、2週間位でふ化、2か月位で成熟します。

水田内に発生している場合、**薬剤散布**を実施し、殺貝や食害防止を図ってください。

その他、秋期（収穫後）・春期（田植え前）の石灰窒素の散布や冬期の耕うん、水口網の設置、田植え後の浅水管理も有効です。



左:ジャンボタニシ

右:ジャンボタニシの卵塊

（卵は水中ではふ化できず、卵塊を水中に落とすことで駆除が可能ですが、ふ化直前の黒～白っぽい卵は水中でふ化可能であるため、除去又は潰すことが必要です。）

問合せ先

<幸手市環境保全型農業推進協議会事務局>

埼玉みずほ農業協同組合幸手東支店0480（48）0953

幸手市農業振興課0480（43）1111